

2020年3月期第1四半期決算を踏まえた

会社説明会

アステリア株式会社（東証一部:3853）

2019年8月20日

（財務データは2019年8月8日開示）



3853

会社概要

2019年6月30日現在

- ✓ 市場 東証一部上場 (3853)
- ✓ 設立 1998年9月
- ✓ 事業 「つなぐ」ソフトウェアの開発・販売と
DXを実現する戦略デザインコンサルティング

英国

London

中国

Hangzhou
Shanghai
Hong Kong

日本

Tokyo x 2
Osaka

Seattle, WA

米国

Piano, TX

シンガポール

Singapore



代表取締役
執行役員社長/CEO
平野 洋一郎

- ✓ 資本金 22億7,534万円
- ✓ 従業員数 129名 (連結)

当社の主な事業（ビジネスユニット）

Asteria[☆]

エンタープライズ



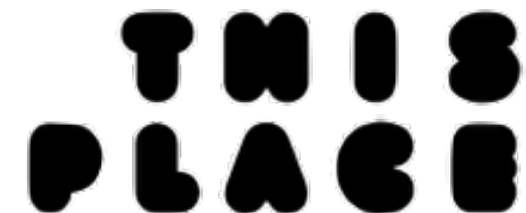
- 情報システムインフラを支える「つなぐ」ソフトウェア
- ASTERIAシリーズは、12年連続市場シェアNo.1

ネットサービス



- モバイルを中心に企業のユーザー部門で使用するソフトウェア
- Handbookは、6つのカテゴリで市場シェアNo.1を獲得

デザインサービス



- 大企業向けのデザイン戦略コンサルティング（2017.4買収）
- 英国ロンドン、米国シアトル、香港の拠点から提供

決算ハイライト

2020年3月期 第1四半期決算

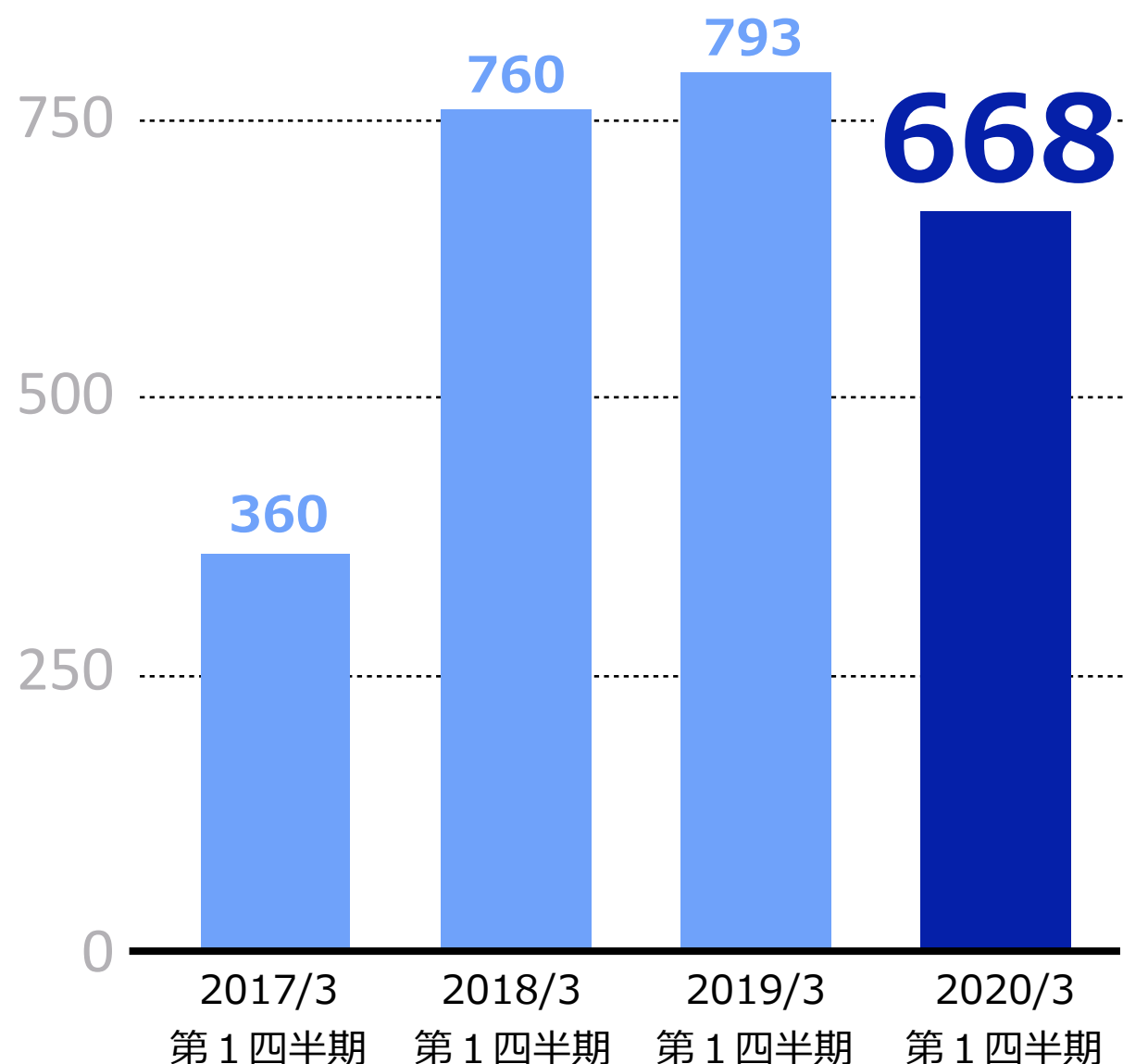
(国際会計基準 = IFRS)

減収減益

- ✓ 売上収益：前期比 **15.8%減**
- ✓ 営業利益：収益減の影響で四半期赤字
- ✓ 当期利益：収益減の影響で四半期赤字

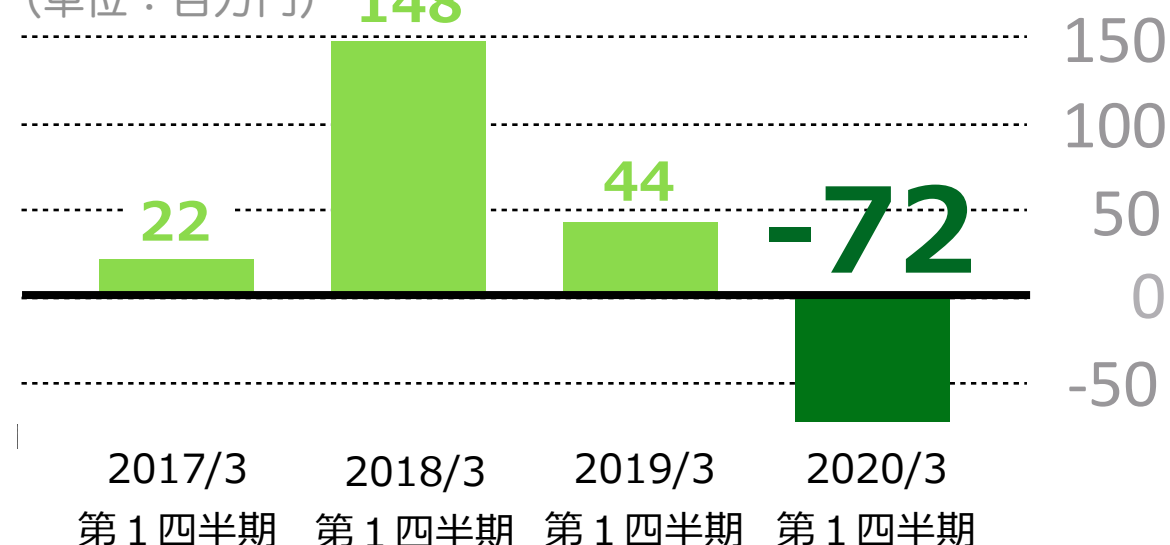
売上収益推移

(単位：百万円)



営業利益推移

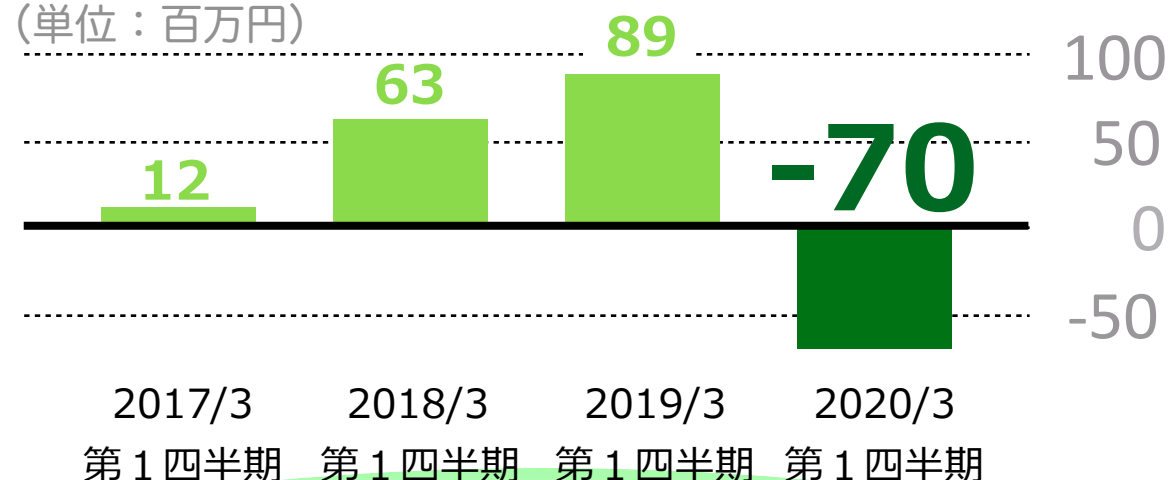
(単位：百万円)



当期利益推移

(親会社の所有者に帰属する)

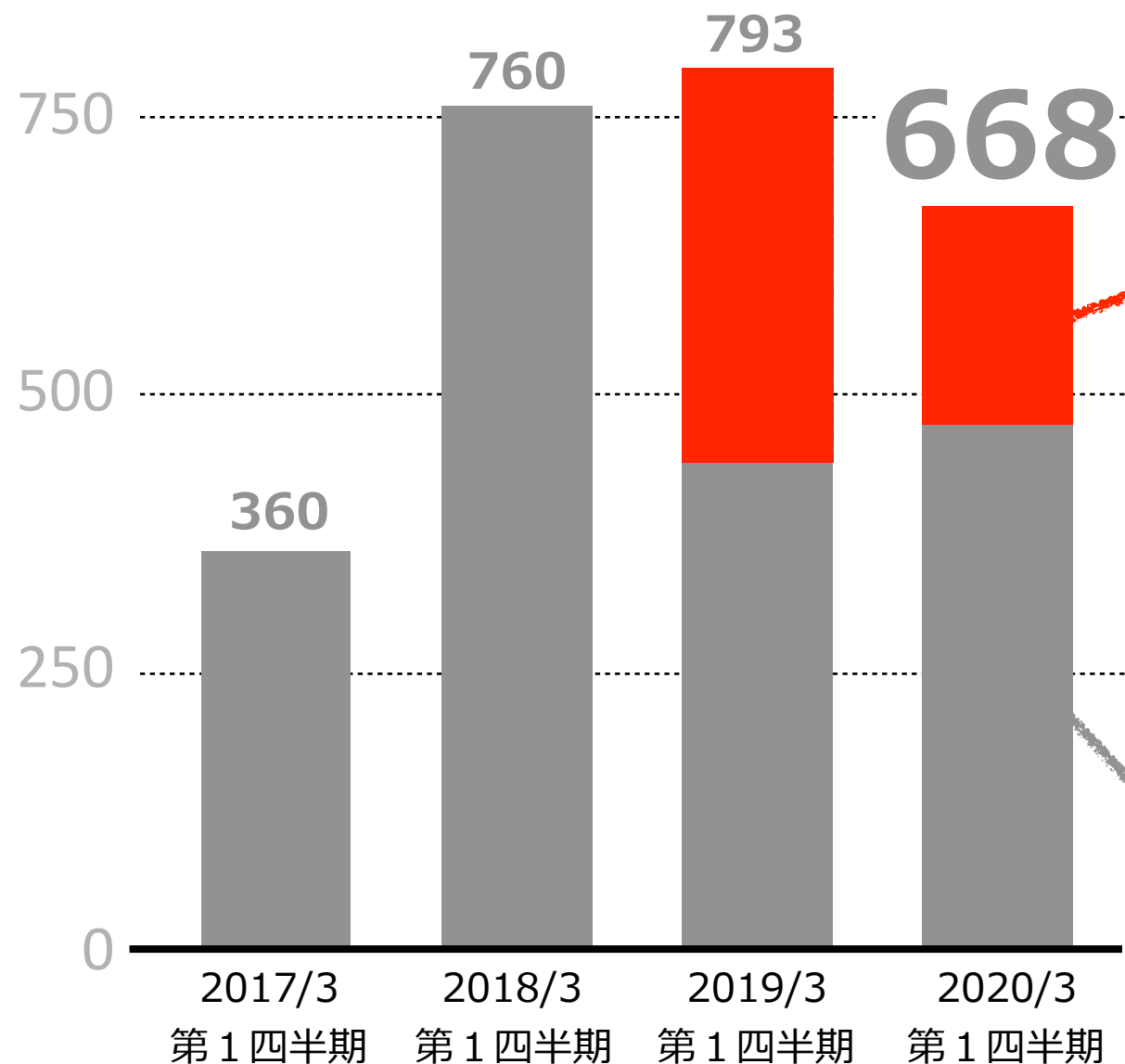
(単位：百万円)



減収要因

売上収益推移

(単位：百万円)



①デザインサービス

が減少

前期比 52.6%

・米国の重要顧客2社に関してプロジェクトが大きく遅延

②エンタープライズ、ネットサービスの増加分でもカバーできず

エンタープライズ：前期比 113.5%
ネットサービス：前期比 106.5%

決算概要

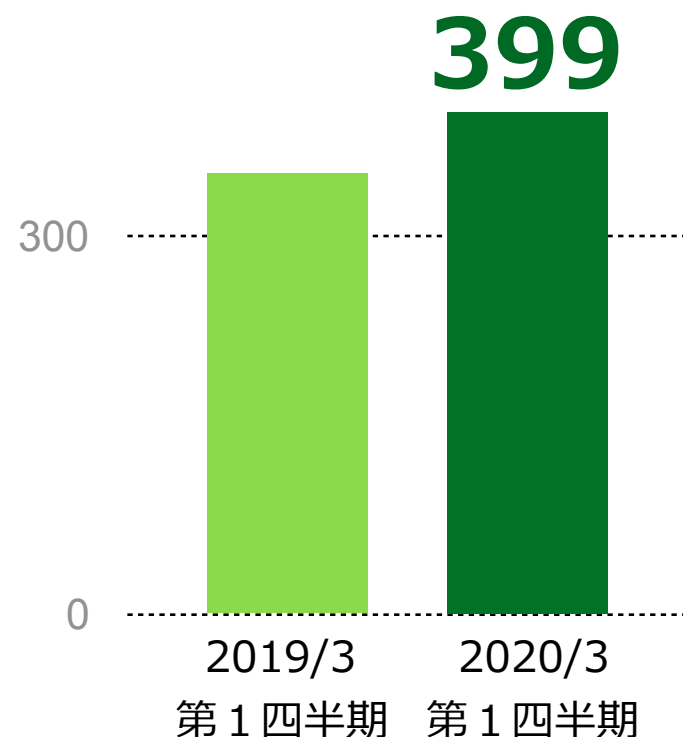
2020年3月期 第1四半期決算
(国際会計基準 = IFRS)

ビジネスユニット別売上収益推移

エンタープライズ

前期比 **113.5%**

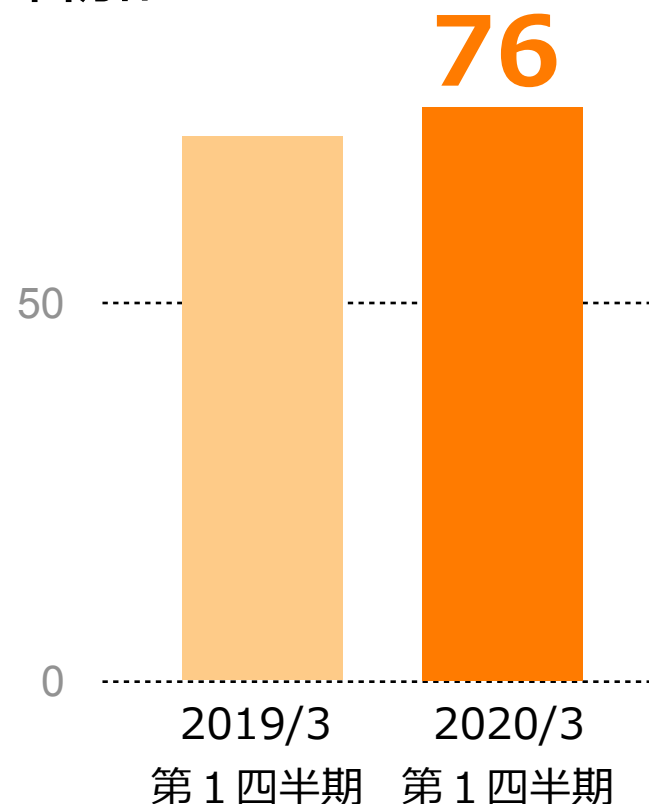
- ✓ 主力**ASTERIA Warp**の導入社数は**7,977**社に増加



ネットサービス

前期比 **106.5%**

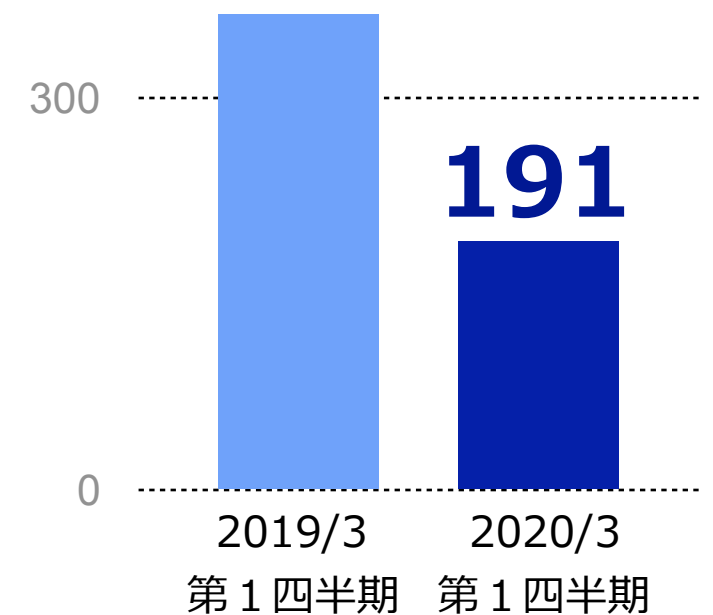
- ✓ **Handbook**の導入件数は、**1,527**件に増加



デザインサービス

前期比 **52.6%**

- ✓ 米国の2つの重要顧客の経営環境の影響を受け大幅な減収

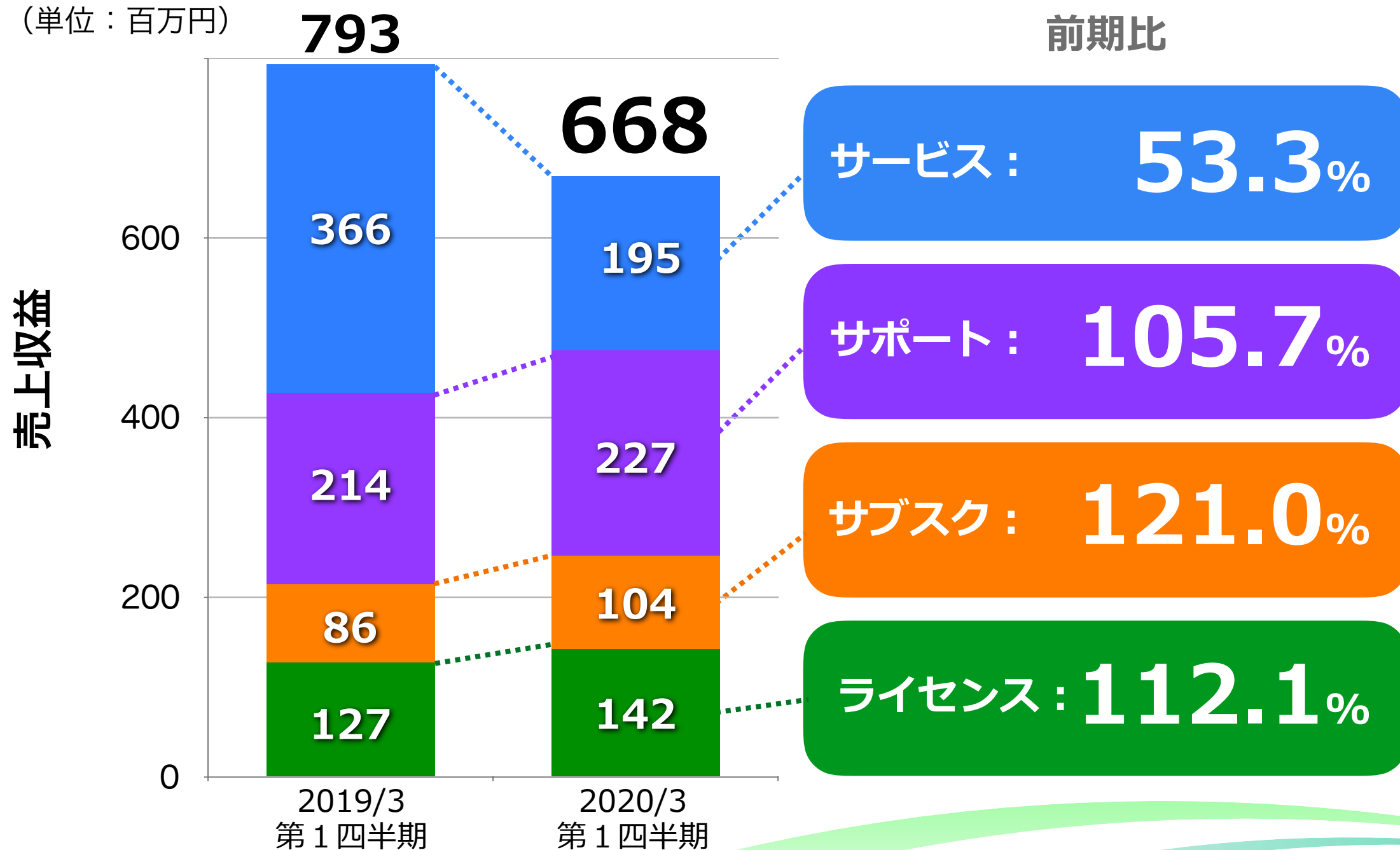


■ 主要3ビジネスユニット合計の全売上収益に占める割合は99.8%

売上区分（タイプ）別売上収益推移

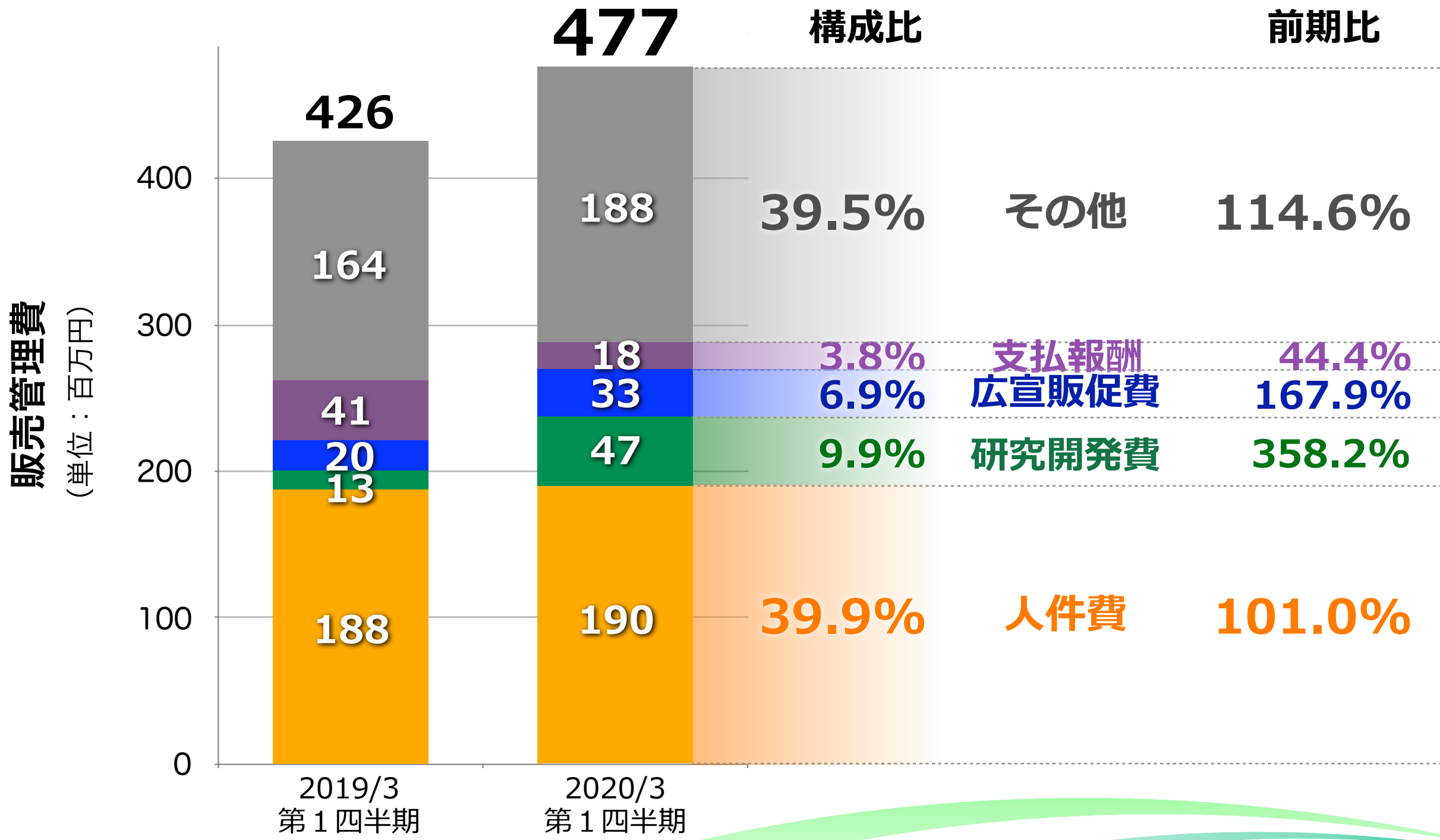
- 「サービス」はデザインサービスの落ち込みで一時的に大幅減。
- 「ライセンス」と「サブスク」は、いずれも2桁増。

（単位：百万円）



販売管理費の推移と内訳

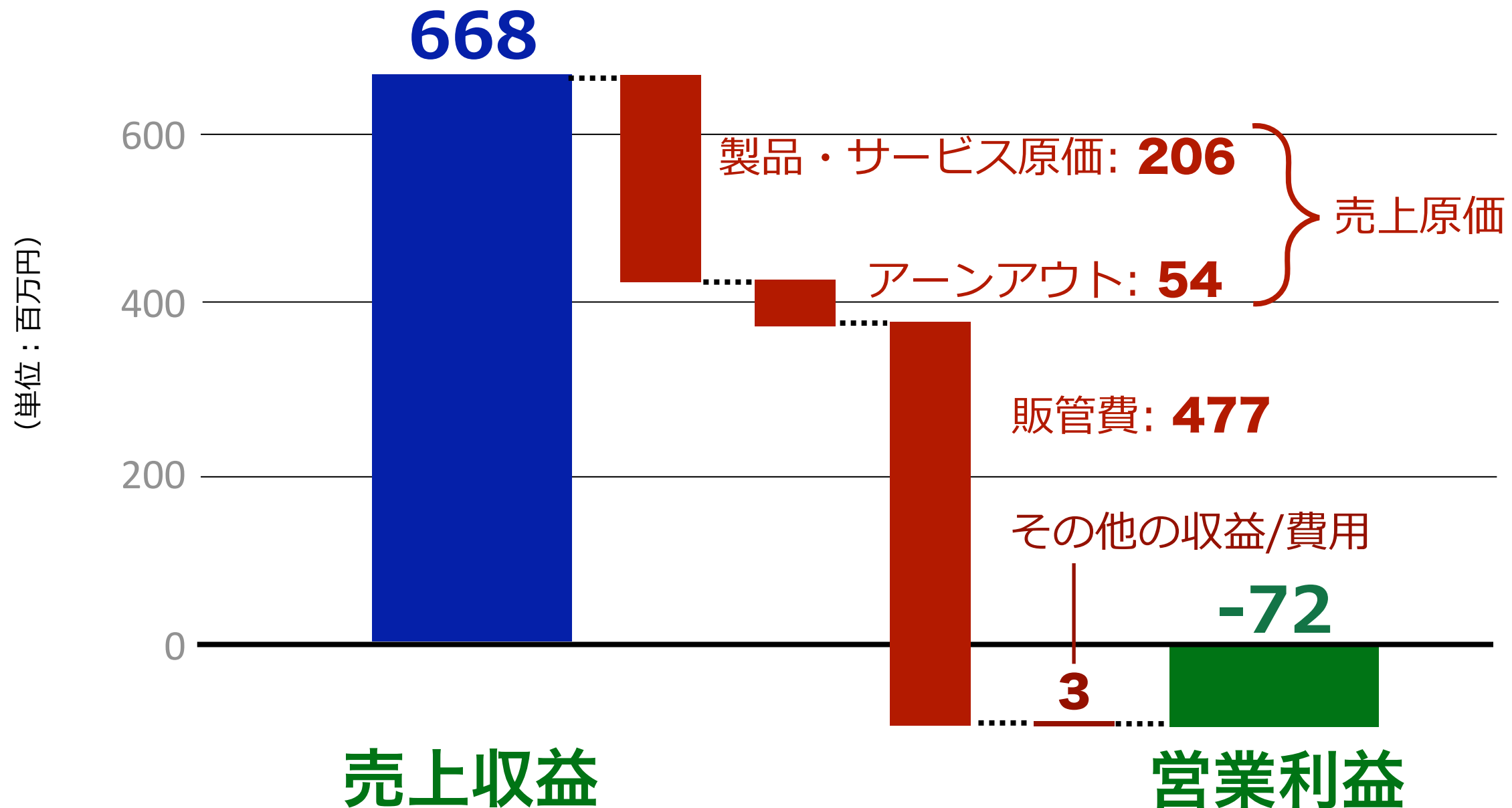
- 新製品の出荷に伴い広宣販促費と研究開発費が増加。
- デザインサービスの減収に伴い人件費増を抑制。



売上収益から営業利益までの内訳

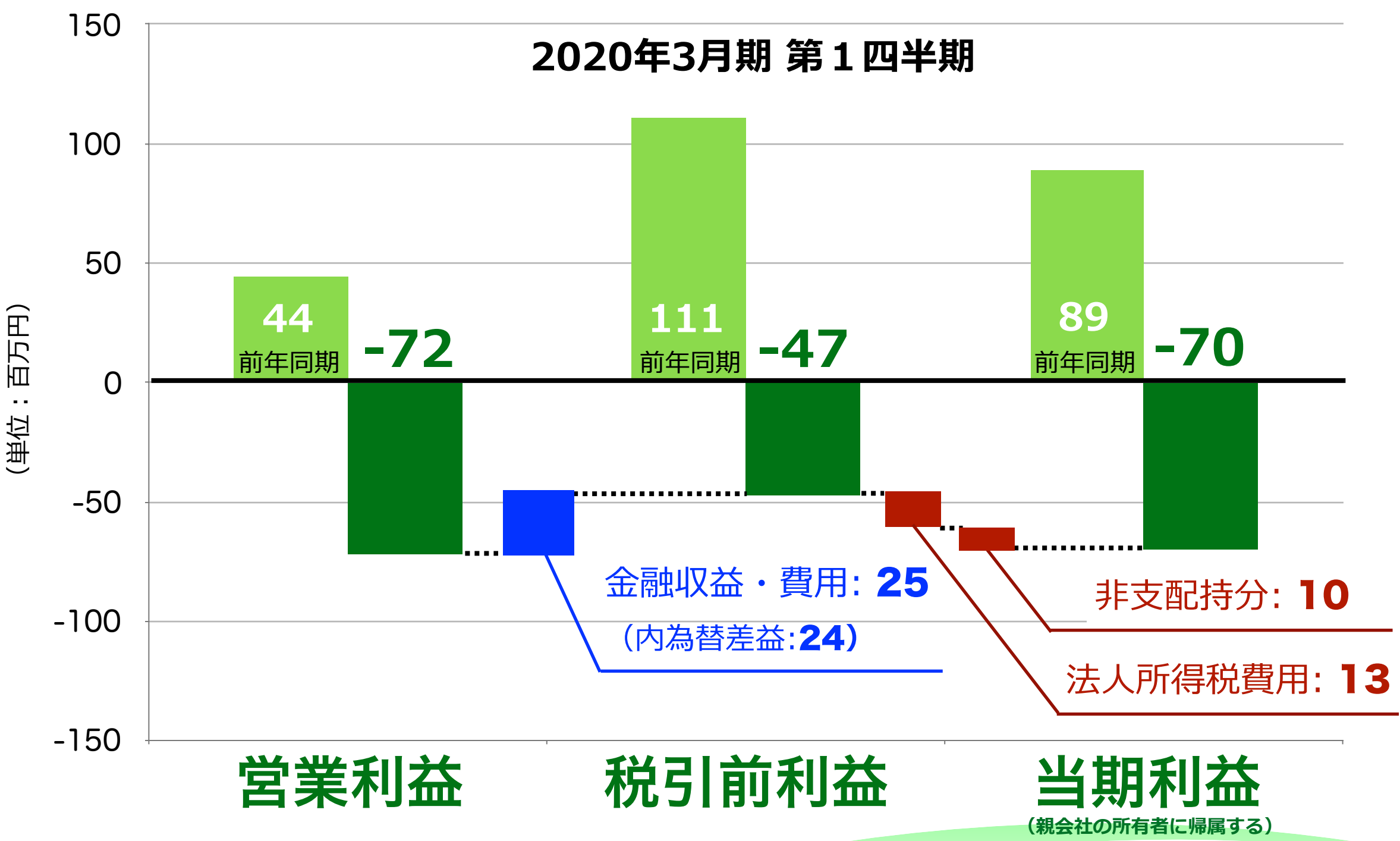
- デザインサービスの収益減により、売上収益、営業利益共に減少。

2020年3月期 第1四半期

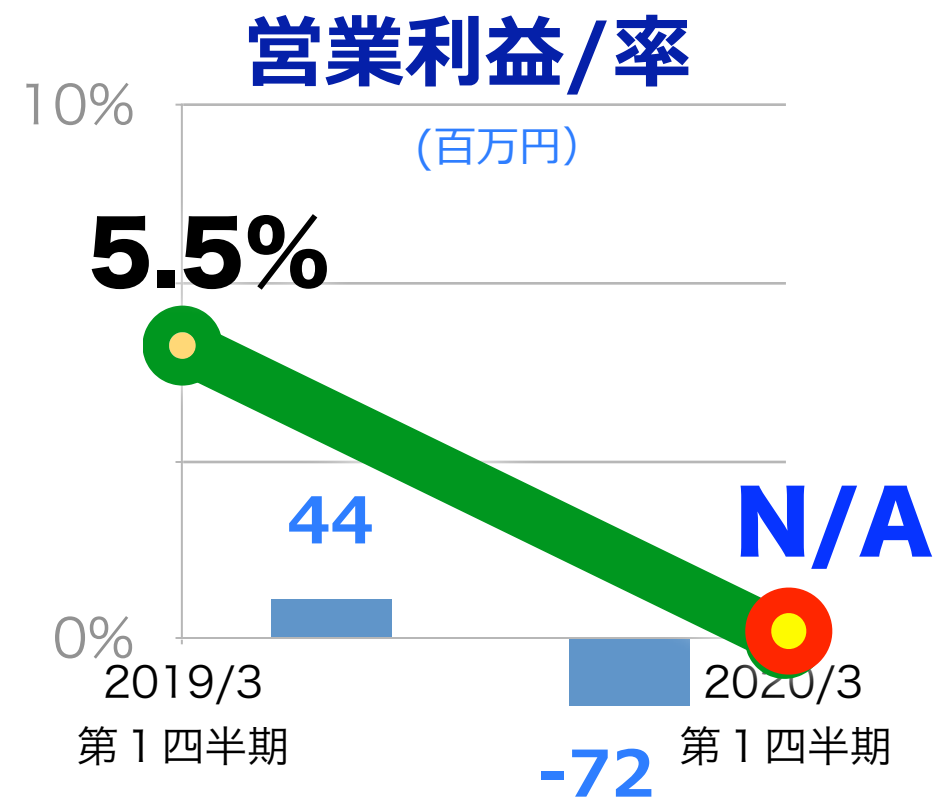
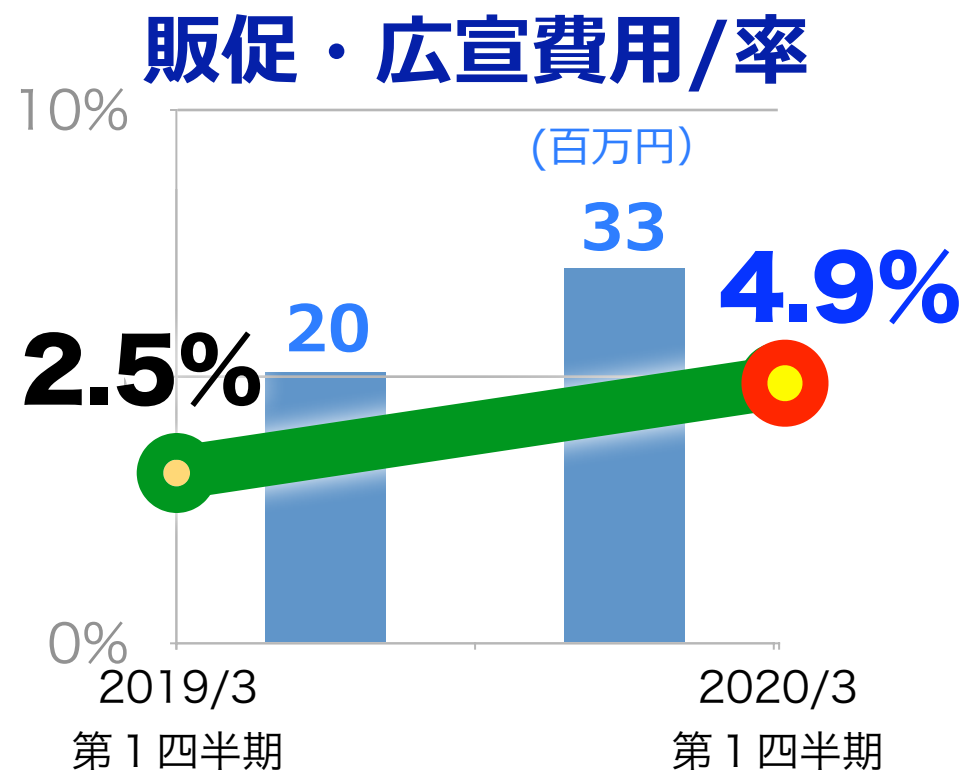
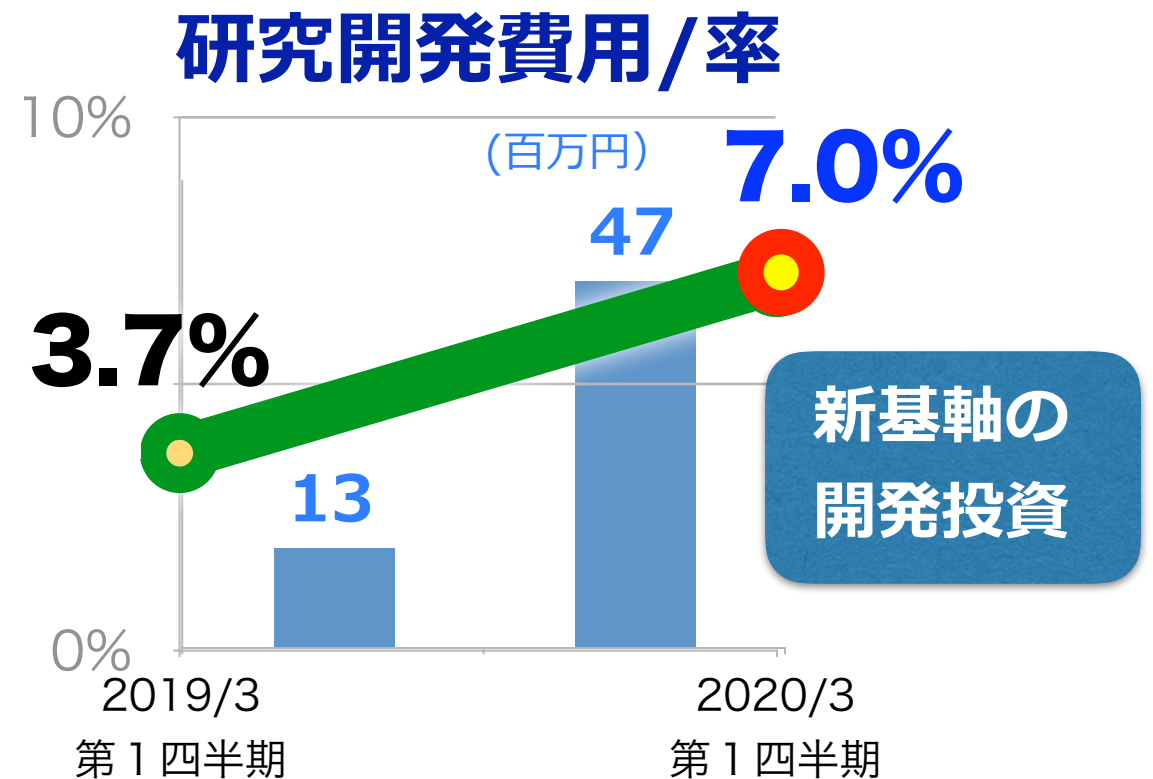
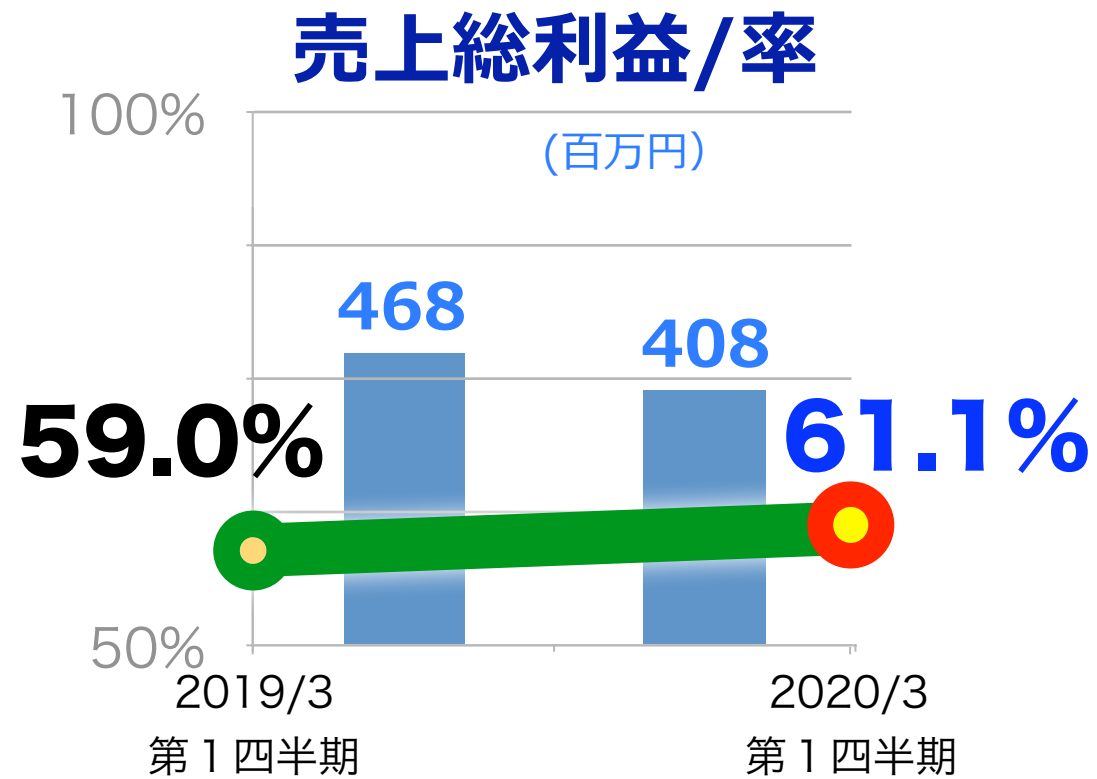


営業利益/税引前利益/当期利益 (親会社の所有者に帰属する)

■ 営業利益以下については特記事項なし。



経営指標の推移 (前年同期比)



財政状態計算書

		2019年 3月31日	2019年 6月30日	増減
資産 の 部	現預金等	3,277	3,387	110
	営業債権	709	413	▲296
	その他流動資産	123	121	▲2
	有形固定資産	191	1,406	1,215
	のれん	1,347	1,232	▲115
	無形資産	144	121	▲23
	投資等その他	1,325	1,622	297
	資産合計	7,117	8,302	1,186
負債 の 部	借入金	100	100	-
	営業債務	92	138	46
	未払法人所得税等	152	68	▲84
	その他流動負債	749	1,093	345
	長期借入金	-	-	-
	その他非流動負債	634	1,819	1,185
	負債合計	1,727	3,219	1,491
資本 の 部	株主資本	5,381	5,157	▲224
	その他資本の構成要素	0	▲111	▲111
	非支配持分	8	38	30
	純資産合計	5,389	5,084	▲306

(単位：百万円)

■ 現預金等

3,387 百万円

■ 自己資本比率

60.8%

✓ 長期借入金：無し
→ 積極的な投資に耐えうる
極めて健全な財務体質

キャッシュ・フロー計算書

- 営業キャッシュフローは**5億円超**のプラス。
- 今後の戦略的投資に向けて**30億円超**の潤沢な現預金等を有する。

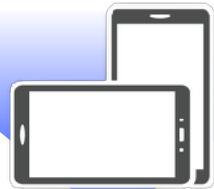
(単位：百万円)	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	▲67	507
投資活動による キャッシュ・フロー	▲16	▲233
財務活動による キャッシュ・フロー	45	▲81
現金及び現金同等物の 期末残高	4,208	3,387

業績予想について

- 第1四半期の減収要因は改善予想のため業績予想は変更無し。

デザインサービス売上の減少

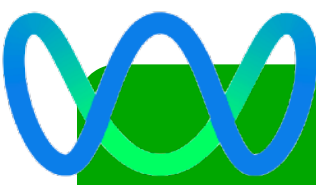
米国の重要顧客2社の経営環境問題に起因し複数プロジェクトが大きく遅延



- ◆ 2019年7月26日に米国司法省がT-MobileとSprintの合併を承認。
- ◆ 通期ではリカバリー予定。
- ◆ 一部プロジェクトが再開。
- ◆ 新規クライアントのプロジェクトを既に開始。
- ◆ 通期ではリカバリー予定。

エンタープライズ、ネットサービスは順調

トピックス



主力製品：ASTERIA Warp



市場シェア

12年
連続No.1

Core売上

(完全サブスク型)

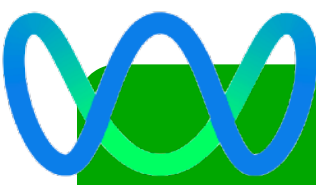
209%
前年同期比

第1四半期
売上
過去最高

導入社数

7,977社

最新版
出荷

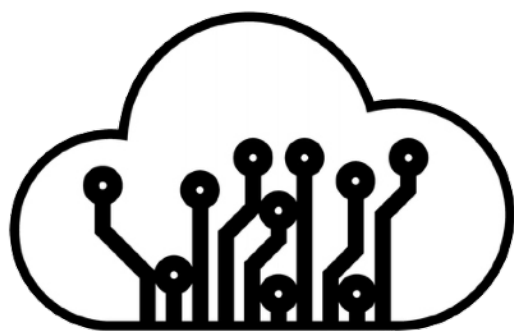


ASTERIA Warp : 好調の要因



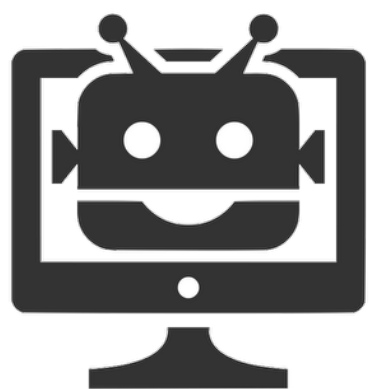
✧ 既存顧客からのリピート

- ✧ 利用範囲の拡大と横展開
- ✧ サブスク（月額モデル）の定着



✧ クラウド連携ニーズの拡大

- ✧ 特にkintone（サイボウズ）連携案件が増加
- ✧ 低価格レンジに「Core」の認知拡大



✧ RPAニーズ引き続き好調

- ✧ Excel/PDF連携機能の強化が好評
- ✧ 最新版でExcel連携機能強化しニーズ喚起

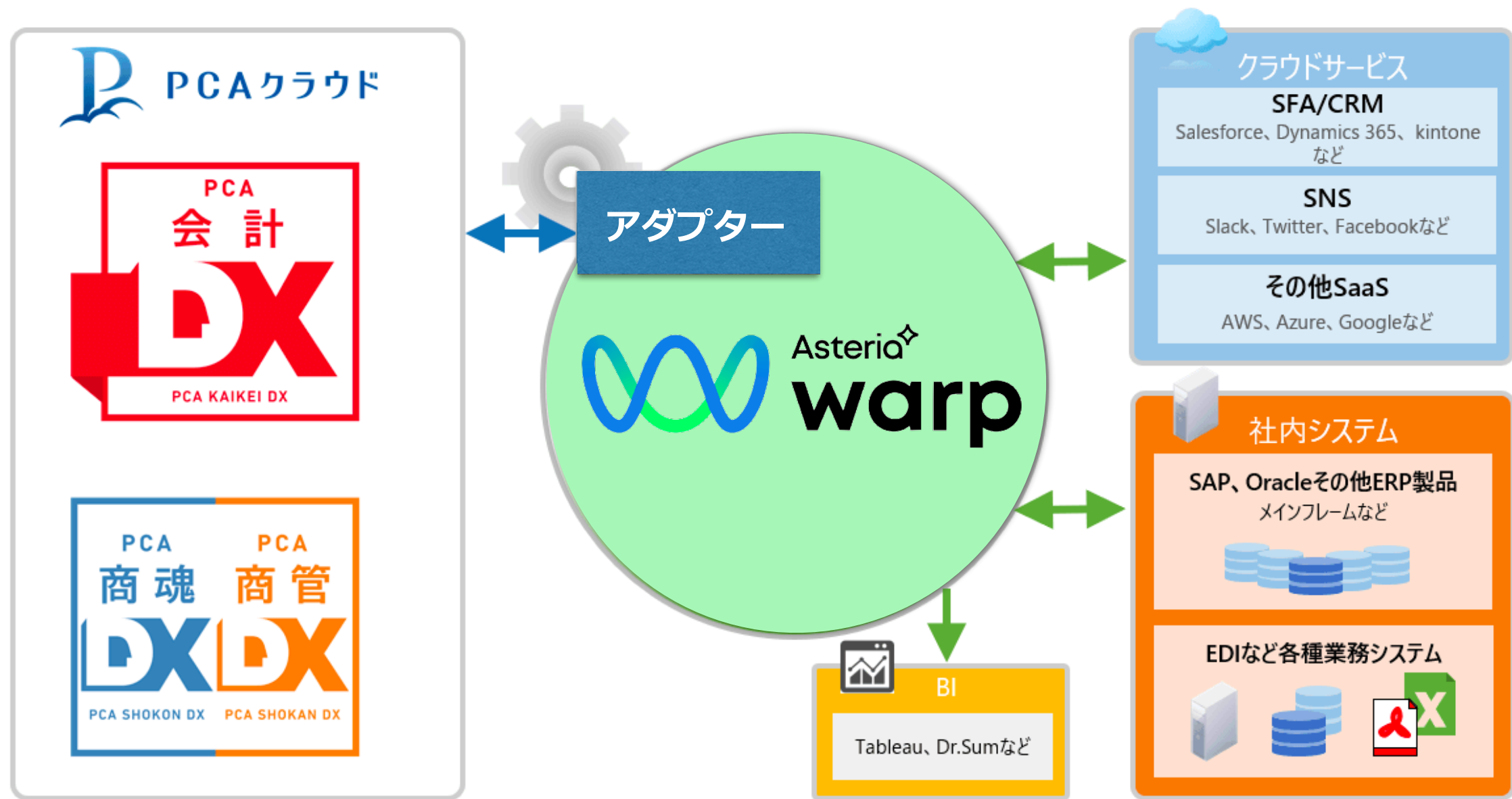
サブスクパートナー(ASP)

✓ 41社のASTERIA Warp Coreの成長を支える新たなパートナー制度。



PCAクラウドと連携開始

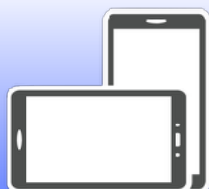
- ✓ 「PCA会計DX アダプター」、「PCA商魂商管DX アダプター」を販売開始
- ✓ 消費税対応で会計ソフトは新規・更新の特需あり



デザイナーサービスの見通し

デザイナーサービス売上の減少

米国の重要顧客 2 社の経営環境問題に起因し複数プロジェクトが大きく遅延

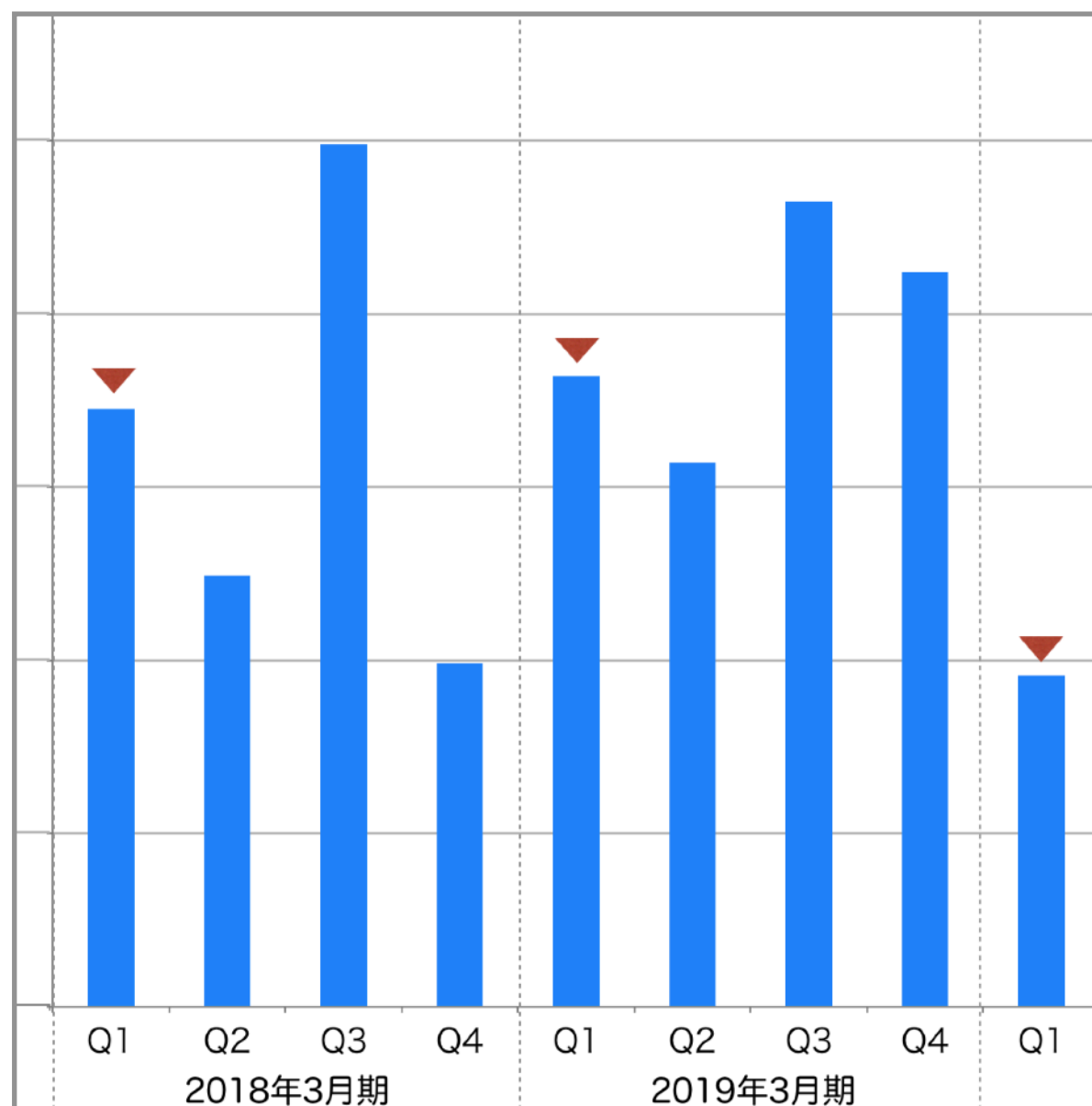


- ◆ 2019年7月26日に米国司法省がT-MobileとSprintの合併を承認。
- ◆ 通期ではリカバリー予定。

- ◆ 一部プロジェクトが再開。
- ◆ 新規クライアントのプロジェクを既に開始。
- ◆ 通期ではリカバリー予定。

デザイナーサービスの見通し

デザイナーサービスの四半期毎収益推移
(補足資料より抜粋)



◆ デザイナーサービスは、
これまでも4半期毎の
変動が激しい

◆ 当社による買収後は売上
を保守的に認識

デザインサービス構造の改善（短期）

特定顧客企業への依存度が大きい

利益率／効率が良いが、リスクも高い

米国 2 つめの重要顧客への注力したが

さらに幅広い顧客ポートフォリオを構築

デザインサービス構造の改善（中期）

プロジェクト売上への依存度が大きい

リтейナー型：安定するが利益率は高くない
プロジェクト型：利益率は高いが安定度に課題

パフォーマンス型モデルの組み込み

（サブスクリプション＋成功報酬）

既に、Accenture, McKinsey, Deloitte等が実施



中期経営計画2020

Asteria[☆]

中期経営計画2020 - まとめ

2020年度

★売上収益：50億円

国内事業を伸ばしながらも
海外売上率：50%

★営業利益：10億円

積極的な投資をしながらも
営業利益率：20%

★3つの新技術ラボを開設（製品軸 x 技術軸）

★M&A投資可能規模を200億円に

★ESG経営の推進

✓SDGsへの参画、グローバルアドバイザリーボード設置

★世界ブランド ASTERIA Corporation へ

✓日本名「アステリア株式会社」



新たな取締役構成

- 取締役の過半数が社外・独立取締役（創業時から社外2名以上）
- 社外取締役は国際性、ジェンダーの多様性を重視した構成

ガバナンスの効いた取締役会構成（2019年6月～）

社内取締役		社外取締役		
				
平野洋一郎	北原 淑行	五味 廣文	Anis Uzzaman	時岡真理子
▶ 社長/CEO	▶ 副社長/CTO ▶ ソフトウェア 開発歴30年超	▶ 元 金融庁長官 ▶ 西村あさひ法律 事務所 顧問 ▶ BCG Japan シニアアドバイザー	▶ シリコンバレーの VCのCEO ▶ 世界40ヶ国以上で 開催の「Startup World Cup」主催 ▶ 米国CA州在住	▶ シリアルアントレ プレナー ▶ Forbes Japan 世界で闘う女性 55に選出 ▶ 米国NY州在住

成長に向けた投資領域は「4D」

Asteria[☆]

重点投資領域とは

「4D」

Data

(AI, Big data etc.)

→データのみが企業IT資産になる

Device

(IoT, Smart devices etc.)

→デバイスが不可欠なインフラになる

Design

(Design Thinking, Digital Transformation etc.)

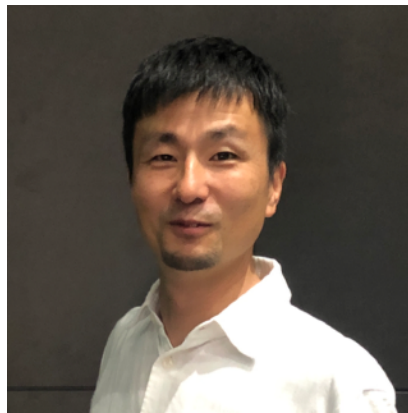
→「デザインファースト」の時代に

Decentralized

(Blockchain, DApps etc.)

→分散して協調ができる「個」の時代になる

Asteria Vision Fund 始動



Asteria Vision Fund Inc.
Managing Director
Shinji Yoshida



- 中長期計画に沿った**投資専門会社**
- **米国テキサス州プレイノ市**
 - ✓ トヨタも北米本社を移転した成長都市。
- 資金は手持現金だけでなく**デット**や**他社資金**も計画
 - ✓ 第1号ファンドは**2,200万米ドル**で**肥後銀行**と組成。
- すでに**複数のパイプライン**（投資先候補）を保持



Asteria Vision Fund 始動



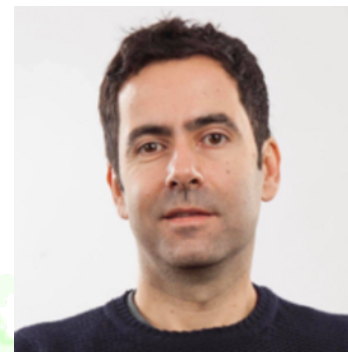
4D

✓ 経験豊かな投資委員会メンバー



平野洋一郎

アステリア（旧インフォテリア）が実施してきた出資やM&Aを全ての交渉を直接指揮・実施した実績。



Dusan Hamlin

自らが創業した企業を2社売却した経験。1社目は電通のUK子会社に売却。2社目はアステリアに売却。



北原淑行

アステリアが実施してきた技術系企業の全ての出資やM&Aに対して目利きおよび技術評価した長年の実績。



Anis Uzzaman

シリコンバレーベースのVCのCEOとして米国、日本、アジアの企業120社以上の投資実績。

Asteria Vision Fund 始動

✓ 投資委員会メンバーの実績

売却実績

M&A実

THIS
PLACE



EditGrid



Jetlore

bop



ROXIMITY

WaveMaker



Side•car
a whole new way to get around

circa

Everforth

TALENTA

I P O 実 績



500V



AI研究開発会社「Asteria ART」 始動

Artificial Recognition Technology



Asteria ART
CEO

Dr. Tom Sonoda

A large graphic featuring the text "4D" in a bold, sans-serif font. The "4" is green and the "D" is red. This text is centered within a circular graphic composed of three green arrows forming a clockwise loop. The background of the slide features a faint, light green world map.

- ✓ 中長期計画に沿った、認識技術(AI)と適用の研究開発
- ✓ 東京都新宿区

■最先端のマシン・ラーニングの研究

- ✓ 代表は20年以上の実績を持つ園田智也博士
 - ▶ Ph.D Computer Science（早稲田大学）
- ✓ アドバイザーにも有力者を迎える

AIにおける戦略的提携



Gorilla Technology
CEO Dr. Spincer Koh

4D

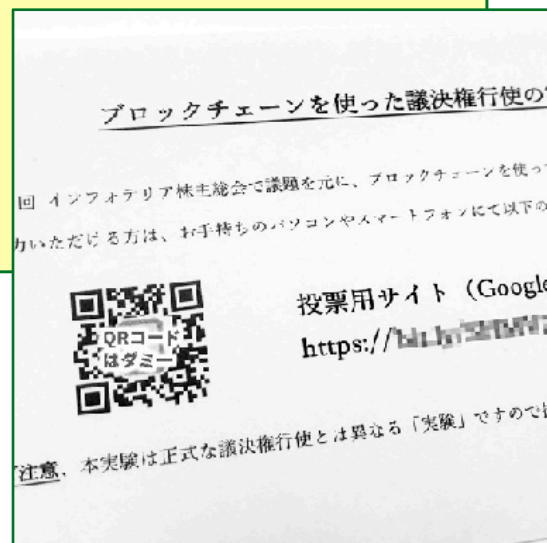
■ Gorilla Technology (台湾)

- ✓ 台湾で実績No.1のビデオAI企業（空港や警察で採用）
- ✓ Intelの**Open VINO認定第1号**
- ✓ CPUで稼働でエッジコンピューティングに最適
- ✓ **Interop Tokyo 2019で"Best of Show"を受賞**

ブロックチェーン技術の進展

株主総会議決権行使 実用化に成功

- ✓ 三菱UFJ信託銀行の協力を得て
当社第21回定時株主総会での実
際の議決権行使にブロック
チェーンを使用。
- ✓ 20%強の議決権行使が実際に実
施された。
- ✓ 有償サービス化へ



4D

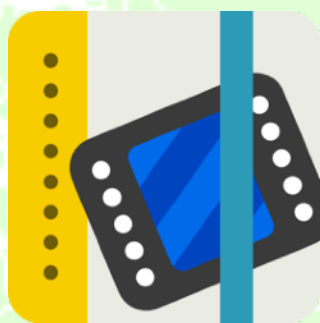
組み込み型ブロックチェーン の開発に成功

- ✓ ソフトウェア組込み用ブロック
チェーンの開発に成功。
- ✓ ソフトウェアの稼働ログ、シス
テム監査、ライセンス管理等に
利用可能。
- ✓ まず当社製品から搭載。

未来へ「つなぐ」アステリア



システムをつなぐ



ヒトをつなぐ



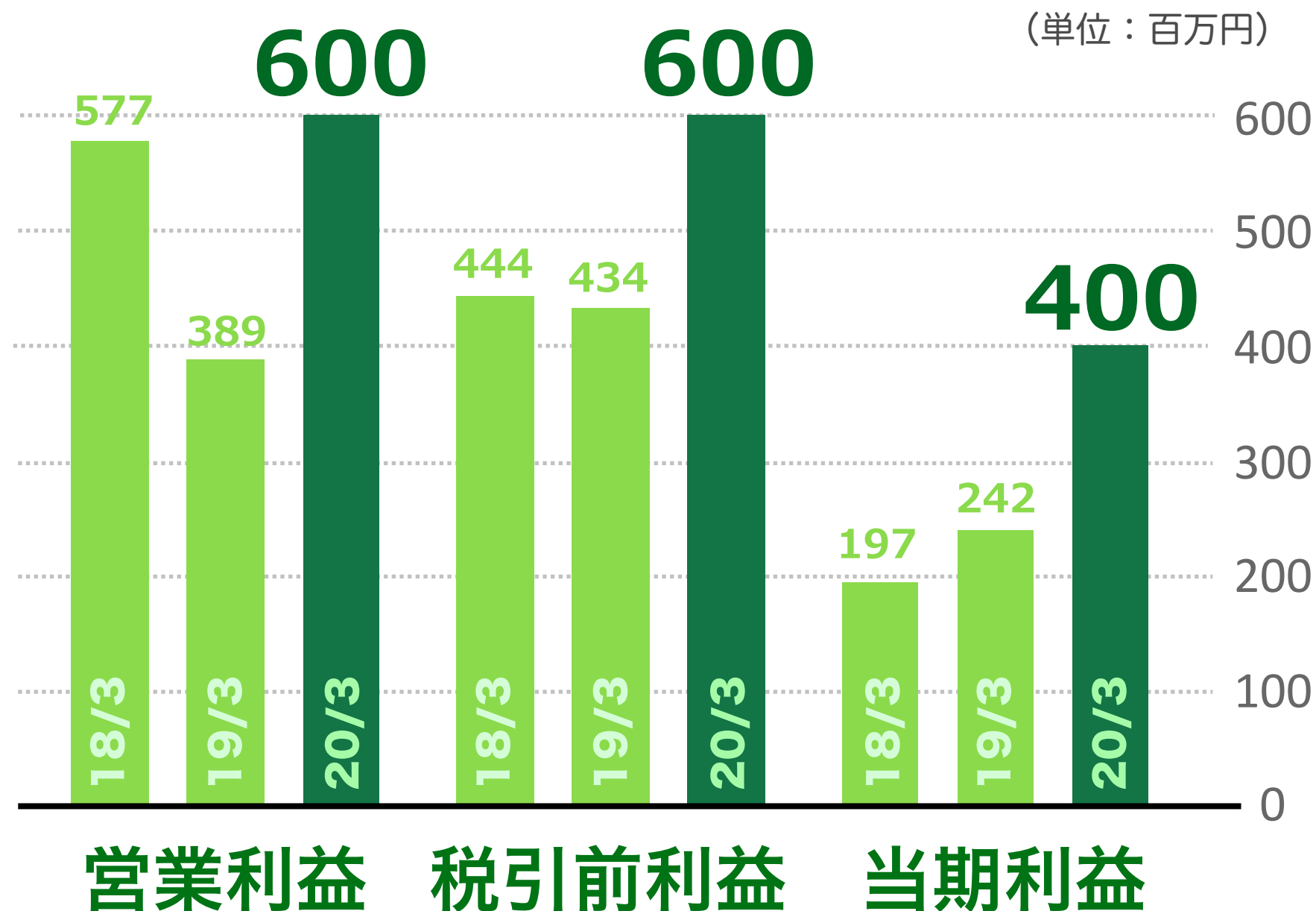
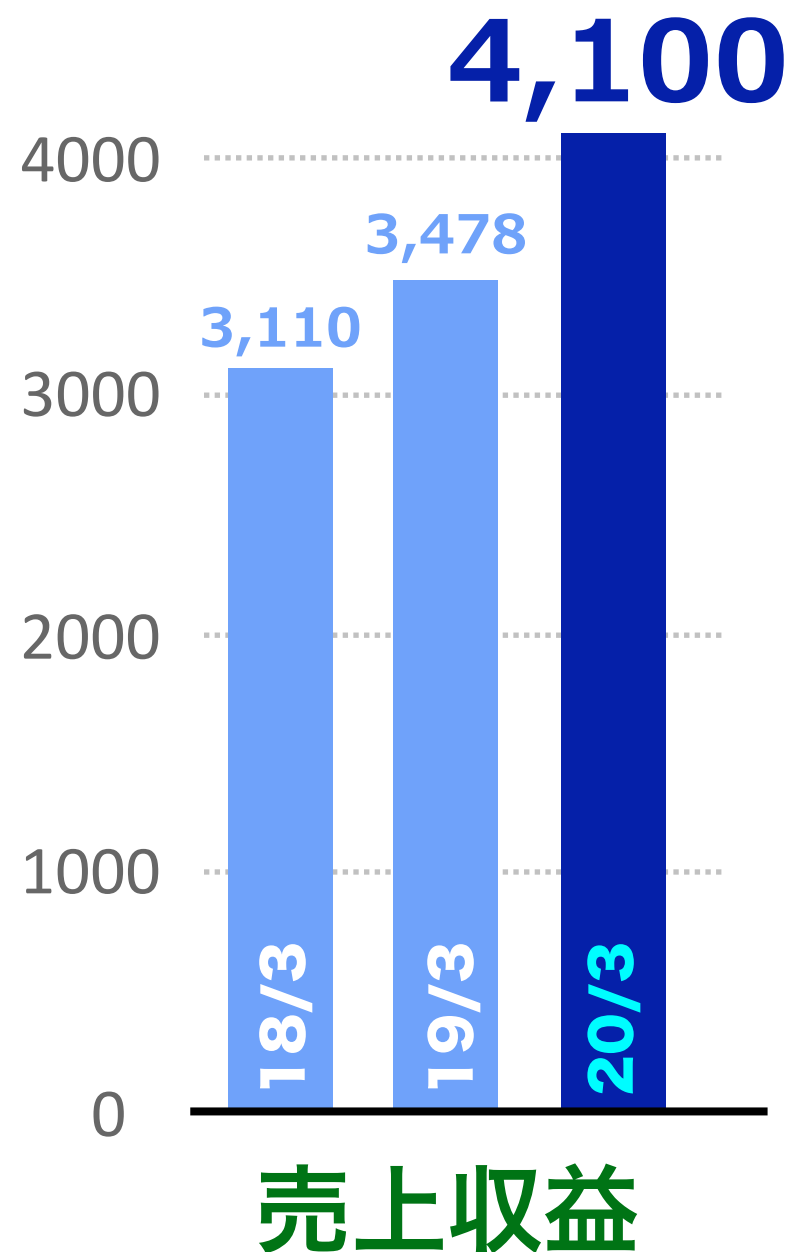
モノをつなぐ

THIS
PLACE

スムーズにつなぐ

20年3月期 業績予想

- ✓ 売上収益：前期比 約18%増加
- ✓ 営業利益：前期比 約54%増加

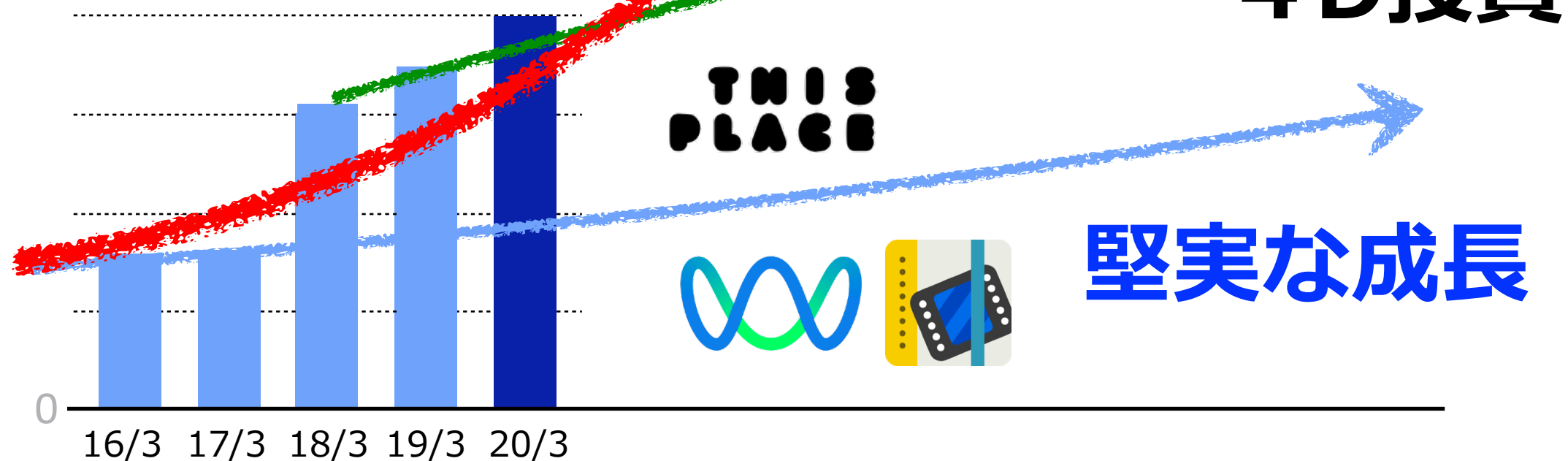


(親会社の所有者に帰属する)

今後の成長イメージ

成長の積み重ね

売上収益推移
(トップライン)



アステリア株式会社

(東証一部:3853)

LINEによる
速報配信



お問い合わせ電話番号
03-5718-1655

本説明会及び説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な環境や要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご承知おきください。